株式会社和田コーポレーション様に対する 『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第一回モニタリングの実施について

百十四銀行(頭取 森 匡史)は、2023年9月20日(水)に実行した丸亀支店取引先 株式会社和田コーポレーション(香川県丸亀市大手町 代表取締役 松田 敏之)向け『114ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)』に対し、第一回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ(重要課題)を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定する KPI(重要目標達成指標)に対し、進捗状況の確認と、KPI達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナブル経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

(※) お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資。当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブ『UNEP FI』が制定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

記

■企業の概要

会 社 名 株式会社和田コーポレーション

所 在 地 香川県丸亀市大手町 1-3-11 和田大手町ビル

業 種 マンションデベロッパー

【サステナブルな取組み】

「満足のいく住まいづくりに貢献する」の企業理念のもと、高品質でかつ好価格なマンション開発を行っています。これからは、高い耐久性能やラグジュアリーなデザインに加え、ZEH-M認証を取得したマンションなど、環境に配慮したマンション開発にも取り組み、サステナブルな住まいの提供を行ってまいります。



* 株式会社和田コーポレーションの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第一回モニタリング報告書」については、別紙をご参照ください。

以上

株式会社和田コーポレーション

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

第1回モニタリング報告書



2024年10月31日



目次

1.	株式会社和田コーポレーションの企業概要	1
2.	目標達成に向けた進捗状況	2
3.	総評	3

1. 株式会社和田コーポレーションの企業概要

1. 水丸は出口 パレンコッ正来風文				
企業名	株式会社和田コーポレーション			
設立	1998年12月2日			
代表者名	代表取締役社長 松田 敏之			
資本金	9,000万円			
従業員	44人(2024年2月期)			
売上高	133 億8,900万円(2024年2月期)			
事業拠点	本社			
	〒763-0034 香川県丸亀市大手町1-3-11 和田大手町ビル			
	高松支店			
	〒760-0079 香川県高松市松縄町1051-14			
	岡山支店			
	〒700-0986 岡山県岡山市北区新屋敷1-9-27			
	松山支店			
	〒790-0855 愛媛県松山市持田町1-3-21			
	徳島支店			
	〒770-0852 徳島県徳島市徳島町2-12			
	高知支店			
	〒780-0062 高知県高知市新本町1-6-28			

2. 目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	ZEH-Mをはじめとする環境配慮型マンションの取り扱い~「環境力」の向上~
対応方針	低炭素・ZEH-M認証取得マンションの取り扱い強化
	企画マンションの高寿命施工維持
	店舗電力での再生可能エネルギー活用
K PI	ZEH-M等環境認証取得のマンションを年間3棟販売
KPI	(2023年4月現在:0棟)
	2030年までに全営業所に太陽光パネル設置(2023年4月:1拠点)
KPI進捗状況	ZEH-M認証取得マンションは2024年8月までに5棟着工。
KPI進抄1A加	住宅性能評価にてZEH基準への適合が2025年に義務化されるため、今後建設するマンショ
	ンはZEH-Mを標準化している。
	太陽光パネルは岡山支店のみ設置。
	新規で建設する支店・営業所にて設置予定。

項目	内容
インパクト	あらゆるリスクを低減し居住者の安全を守る
対応方針	取扱いマンションの耐震・耐久性能向上 セキュリティシステムの強化と駆けつけサービス取り扱い増
KPI	建築基準を上回る自社独自施工基準の遵守 全自動セキュリティシステムや駆けつけサービスの取り扱いマンション増強
KPI進捗状況	建築基準法よりも厚い「鉄筋かぶり厚」(鉄筋部分を錆から守るコンクリートの厚さ)と、コンクリートが 大気中の二酸化炭素に反応して中性化することを極力抑え、コンクリートの劣化を防ぐ仕上げ加工は 変わらず当社設計・施工基準として継続 全自動セキュリティシステムと駆けつけサービスはいずれも全棟標準装備化。 既存マンションにも後付けで設置予定。

項目	内容
インパクト	どの世代も満足できるすまいづくり
対応方針	子育て世帯が求めやすいマンションの販売強化
	ヒートショック予防・バリアフリーなマンションの供給強化
KPI	補助金(こどもエコすまい支援事業等)対象マンションの企画・設計数増強
	取り扱いマンションの高断熱・フルフラットな床施工の継続
KPI進捗状況	ZEH-M適合を標準化したことにより、同様の補助金事業が発表されたときに対応できるよう
	行政との意見交換を定期的に行っている。
	購入者の3割近くが60歳以上となっていることから、温度差の無い部屋設計・バリアフリー施
	工が必須となっている。

項目	内容
インパクト	安心して活躍できる職場づくり~真の「社員力」の発揮~
対応方針	社員満足度アンケートの実施
	1人毎月3回までの帰省手当支給
	1人毎年3万円までの教育手当支給
KPI	社員満足度アンケートの各解答平均満足度毎期70%以上維持
	(2023年4月現在:満足度70%)
	2030年までに全社員複数資格取得
	(宅地建物取引主任者は取得必須)
KPI進捗状況	2023/9/1に実施したアンケートでは約75%の満足度。
	業務負荷の見直しや昇給・ベースアップを実施したため、前回よりも満足度が向上。
	宅地建物取引主任者以外に資格取得補助を申請したものは1名。
	資格取得を奨励し、従業員の専門性向上を継続して支援していく。

3. 総評

住宅性能評価の改訂に伴い、ZEH-M認証取得がロイヤルガーデンの標準になったことから、当社の企画・販売するマンションの環境性能が飛躍的に向上している。また、全自動セキュリティシステムや温度差の無い部屋設計・バリアフリーの標準化が行われており、いつまでも安心して住み続けられる住まいづくりがなされている。このことより、エネルギーや住居棟の社会的側面のPIがさらに向上され、気候や資源効率・安全性等の環境関連のNIが低減されている。職場環境について、満足度アンケートの評価も向上していることから、待遇面や働き方についても、従業員の納得感が上がっていることが読み取れる。このことから雇用のPIも拡大できている。

今後は、さらなるZEHマンションの販売や営業拠点への太陽光パネル設置による環境対策の推進と、従業員への資格取得奨励によるスキルアップを図り、KPIの早期達成を目指す。

百十四銀行も、土地情報の提供や再生可能エネルギーを用いたカーボンクレジット取引による環境価値創出支援、 福利厚生充実に向けたビジネスマッチングの紹介や人事評価制度の見直し支援を行い、当社の取組みを継続支援 していく。